

# 災害復旧DXプラットフォームの課題解決のためのアプローチ

～いかにして、建設行政事務のDX化を提言したか～

(連絡先)  
災害復旧DXプラットフォーム  
代表 諸戸順子  
Mail : [j-moroto57@pref.kyoto.lg.jp](mailto:j-moroto57@pref.kyoto.lg.jp)

## そもそも課題とは

- 課題は、解決しなければならぬ立場ほど課題を先送りにしがち
- プロダクト開発側は、課題の本質が不明な中で開発を進めがち

## 課題が9割

- 課題は、最上流だけではなく、各工程に存在する
- 課題の本当のやっかいなところは、鶏と卵の関係にあることが多い
- 建設行政は、デジュールスタンダード  
IT技術は、デファクトスタンダード

## 魅力的なアイテム開発のために

- 課題解決に寄り添うアイテムの開発を行うには、単体の機能を深掘りするだけでなく、各工程への連携を意識した探索が必要。
- 既存団体と連携できるような解決方法を提案することが重要。ドローンを事例として。